

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月6日 No.51

中秋の名月



<掲示委員会作成>

上の写真は掲示委員会のみなさんが作成したものです。秋らしい掲示です。この中にうさぎや月見団子が描かれています。この掲示を見て、今年も「中秋の名月」がやってくるなと思いました。素敵な掲示をつくってくださった掲示委員会の皆さんに感謝です。

今年の中秋の名月（十五夜）は10月6日、本日です。ちなみに中秋の名月は毎年決まった日にちはなく、年によって変わっています。例えば、去年は9月17日、一去年は9月29日でした。年によってこんなに違うのかと驚きですが、これは月の満ち欠けを基準にしていた旧暦と、太陽の動きを基準にした新暦では1年の長さが異なるため、中秋の名月の旧暦8月15日が新暦で言う決まった日にちにはならないということによるものです。

さて、今日の給食は、「十五夜献立」でした。中秋の名月のことを、「芋名月（いもめいげつ）」と言うことがあります。この時期がちょうど里芋の収穫時期であり、収穫した里芋を供え、お月見をしたことからこの名がついたと言われています。今日のコロッケは里芋のコロッケでした。他にも団子汁に月をイメージした真ん丸の団子が入っていました。

お月見など、日本の昔ながらの風習もだんだん忘れ去られてしまうのかなと感じることもありましたが、「今日は家でお月見をするんだよ」と何人かの子が話すのを聞いていると、まだまだ大丈夫だなと安心しています。学校はもちろん家庭や地域でも日本の伝統や文化・風習を子どもたちに伝えていきたいですね。

中秋の名月が満月とならない年もあるのですが、今年の中秋の名月はほぼ満月です。天気が心配ではありますがご家族で月見団子を食べながら名月を観賞してみてもはいかがでしょうか。



<十五夜献立>

ごはん 牛乳 里芋コロッケ
キャベツのおかか和え
団子汁 十五夜デザート

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月10日 No.52

前期終了

今日で前期が終了します。楽しく学校生活を送ることができましたか。学校の工事も終わりに近づいています。先日、校長室の引越の時に古い新聞を見つけたので紹介します。この新聞には吉浜小学校の校歌のことが書かれていました。校歌は学校の顔です。卒業して何年たっても歌うことができるくらい心に残るものです。先生は吉浜小学校の卒業生です。三年前に吉浜小学校に來ましたが、最後に校歌を歌ったのは小学校六年生の卒業式でした。それから約四十年ほど校歌を歌うことはありませんでしたが、歌詞も覚えており問題なく歌うことができました。そんな吉浜小学校の校歌。できたのは学校ができて何年くらいのことだと思えますか。翼小学校の校歌は学校ができた年の十一月にできました。吉浜小学校は今年で開校百五十二年目を迎えています。新聞記事に答えが書いてあるので読んでみますね。

学校ができて百年目にやっと校歌ができたなんて驚きですよ。そう考えると、校歌がなくて寂しい思いをしてきた先輩達の分まで校歌を大切に歌い継いでいきたいですね。このあと歌う校歌も気持ちを含めて歌い切りましょうね。

さて、今日、みなさんは通知表をもらいます。これを見ると、この半年間の皆さんの学習の様子が分かります。「Aがいくつあった、Cがいくつあった」と、数を数えて喜んでいる人がいますが、通知表は自分のよく頑張ったところやこれからもっと頑張るとよいところを確認して、次から頑張っていくための目標を決めるものだと思います。お家の人ともそんなふうに通知表を見てほしいと思います。

さて、四月の始業式で、「今年度の最後には、こうなっているといいなという自分の姿を思い描いて、目標を決めて学校生活を送ってください」という話をしました。覚えていますか。自分で決めた目標に今のくらい近づいていますか。まだまだの子もいれば、あと少しという子もいることでしょう。自分の目標が達成できるよう後期も頑張ってくださいと思います。

最後に、六年生の皆さん、吉浜小学校で過ごすのもあと半年となりました。これまでの前期、皆さんは最高学年として、下級生に素敵な姿をたくさん見せてくれました。学校の中だけでなく、学校外での修学旅行でも旅館のスリッパをきちんと整頓したり、奈良の食事ではテーブルごとに食器やコップを集めて、お店の人が片づけやすいようにしていました。どれも誰かに言われたからやっていることではなく、自分たちで考えてやっていることでした。これこそまさに「考え、実行する秋」でした。ありがとうございました。

自分から進んで行動することは勇気のいることです。でもよいと思ったことは遠慮せずにどんどんやっている六年生を大変誇らしく思います。そして、五年生の皆さん、半年後には六年生に代わってこの吉浜小学校を引っ張ってもらわなければなりません。六年生の姿に学びながら来年度に向けて経験を重ねてください。下級生の皆さん、高学年のお兄さん、お姉さんに続いてください。来週から後期が始まります。今の学年も後半分。1日1日を大切に頑張ります。



全校集会では上のような話をさせていただきました。

左の写真は先日行われた交通安全教室の一コマです。交通安全教室には1年生と3年生が参加しました。1年生は自転車の安全な乗り方練習がありませんので、3年生よりも一足早く終わっています。写真は1年生に警察署の方が話されているところです。この時、3年生はトイレ休憩でした。そして、トイレを終えた3年生の子たちは自分たちの場所に戻る時に1年生の前を抜けようと走ってきた子たちが、「ここを抜けるのはまずい」と考えたのでしょう、方向を変えて1年生の後ろを走って戻っていききました。誰かに注意、指示されたわけでもなく、気づき、考え、実行する3年生。6年生の姿が下級生にも広がっていること大変嬉しく思います。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月16日 No.53

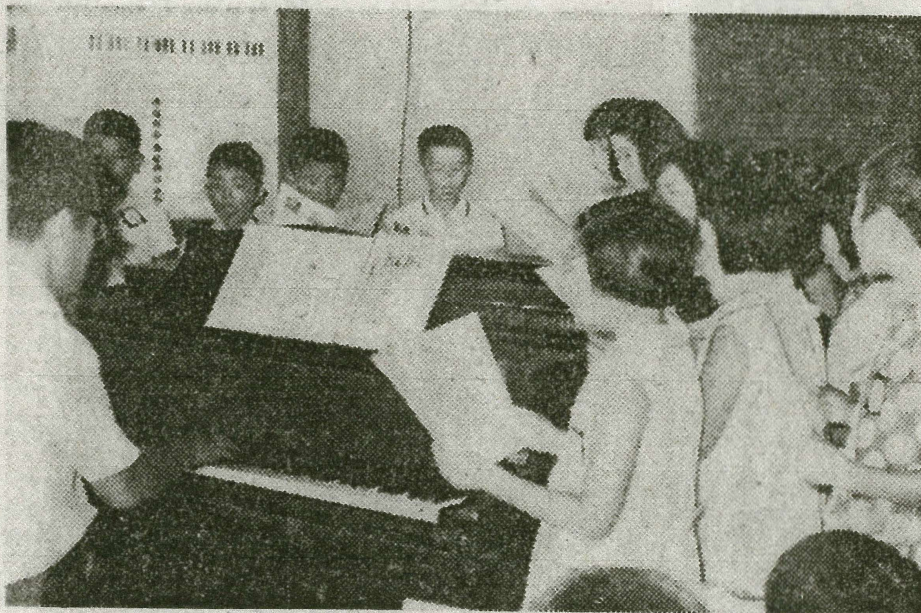
吉浜小学校校歌

本校が母校である保護者のみなさんもたくさんみえると思います。私もそうですが、本校の校歌が開校100年にしてやっとできたということを知っていましたか。私は知りませんでした。

ピアノを囲み校歌の練習をする
高浜市吉浜小の児童たち

開校以来、100年目で

校医さんから どっさり「基金」



やっとできたぞ 僕らの校歌

高浜市
吉浜小

ぼくたちの学校にやっと校歌が出来る——十六日の発表会を待ちわびている児童たちが高浜市にいます。

16日に発表会

この児童たちは同市吉浜小学校（岩瀬繁弥校長）の八百七人。同校は明治六年に開校した古い学校で、ことしてちょうど百年に当たる。ところが開校以来、一度も校歌が出来なかったことから、毎年、同校を卒業する児童たちは思い出の歌もなく、寂しい思い出だけを残して巣立っていった。ところが、さる四十年春、六年児童が修学旅行に出たとき、たまたま車中でバスガイドから「楽しい修学旅行だから、みなさんも校歌を歌ってください」といわれたとき、児童たちはもちろん付き添いの先生も校歌がないため、黙りこんでしまった。これを見た西野久校医「同市吉浜町南屋敷」は「子供たちに肩身のせまい思いをさせてはいけない」と思い学校側へ校歌作成の基金を贈ったほか、市から支給される学校医手当でも寄贈した。

*昭和46年7月13日発行
中日新聞夕刊より

*この記事は、中日新聞社の許諾を得て使用しております。

なると、なかなか話がまとまらず、やっと決まったのはさる四月。このため、岩瀬校長は詩人で愛大教授丸山薫氏・豊橋市米町蟬川三三氏と作曲家森一也氏・名古屋市昭和区丸屋町三ノ一六に作詞と作曲を頼んだ。両氏とも快く引き受け、このほど詞と楽譜が送り届けられた。

児童たちはさっそく音楽の時間に新しい校歌の練習をしているが、岩瀬校長は「詞の内容は百年という歴史と土地環境に合っている。曲もすなおに歌える立派なものです」とハナ高々。

発表会の十六日は丸山、森両氏はもちろん井野高浜市長らを招き、ピアノと鼓笛などで発表するほか、森氏のフルート演奏もあり、児童たちは晴れて校歌が自分たちのものになる日待ちわびている。

長寿命化改修工事のため校長室の引越作業を行いました。この時に出てきたのが茶色く日焼けした新聞でした。この中に本校の校歌の記事がありました。この記事について先日の終業式で話しましたが、開校100年、校歌がなかったことに子どもたちもびっくりでした。その後、歌った校歌、子どもたちの歌声は大変素晴らしく、校歌がなくて寂しい思いをしてきた先輩たちの分まで歌い切ろうという思いが伝わってきて嬉しく思いました。このような歴史とともに、この校歌をみんなで歌い継いでいきます。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月17日 No.54

シン鬼みちまつり

鬼あかり
〈森前公園〉

たかはま

ともそう未来、希望の灯り

瓦の巨大鯰
修復報告会
〈巨大鯰前〉

キッチンカー

マルシェ
〈美術館ホール〉
〈森前公園〉

2025
10.18^土
13:00-18:00

〈会場〉
高浜市やきものの里 かわら美術館・図書館
森前公園

ACCESS
〔電車〕名鉄三河線で「高浜」駅下車徒歩約10分
〔車〕知多半島道路「岡久比IC」より約20分

主催：三州瓦鬼師応援隊 お問い合わせ：090-9662-0258

美術館内・アクセス

TAKAHAMA SHIN ONIMICHI MATSURI



2025.07.14制作



明日10月18日(土)は、高浜市やきものの里かわら美術館・図書館、森前公園を会場にして「シン・鬼みちまつり」が開催されます。「シン・鬼みちまつり」は2022年に幕を閉じた「鬼みちまつり」に代わって、鬼師さんを中心とした「三州鬼師応援隊」が「シン・鬼みちまつり」として開催しているもので今年で3回目になります。

「シン・鬼みちまつり」には7月に6年生が制作した「鬼あかり」の展示もあります。焼成を終えた子どもたちの鬼あかり。焼成後の粘土が固く引き締まっていくように、鬼の表情も引き締まったものになっているように感じているのは私だけでしょうか。

天候が心配ではありますが、ご家族で「シン・鬼みちまつり」を楽しみながら、子どもたちの作品をみていただけたらと思います。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月21日 №55

みんなで走ろう！ 高浜シティマラソン

今年も「高浜シティマラソン」の参加申し込みの時期がやってきました。昨日20日から申し込みが始まっています。「昨日、申し込んだよ」「練習始めるよ」などと笑顔で話してくれる子もいました。

現在、学校ではマラソン大会は行っておりません。今後の体育の授業では、学年の段階に合わせて、例えば、自分のペースで長い距離を走ったり、「〇分間走」のように時間を決めてその間、走り続けたといった学習に取り組んでいく予定です。まとめると人と競い合うのではなく、昨日までの自分と競う学習です。

ただ、周りと競い合いたいという子もいると思いますので、そんな子にはシティマラソンで競い合うことを勧めていきたいです。

また、大人も頑張っている姿を子どもに見せることは大変有意義だと思います。保護者の皆さんもお子さんと一緒に参加されてみてはいかがでしょうか。本校の教員も何人かが参加する予定です。来年1月25日、子どもたちの頑張る姿を楽しみにしております。

第27回 高浜シティマラソン
2026年1月25日(日) 開会式/8:50~

★スタート&ゴール
高浜市立高浜中学校グラウンド
自動計測システム採用

ラッキー賞あります
WEB開催で

ペースメーカー導入! 10km・5km
担当: TSC Cool Wind RCの皆さん

参加者募集
応募期間 2025年10月20日(月)~11月10日(月)

エントリー方法 WEBのみ (10名以上の団体のみ窓口でエントリーを受け付けます。)

★問い合わせ先 〒444-1325 高浜市青木町六丁目1番地15(地域交流施設たかびあ)
高浜シティマラソン実行委員会事務局(NPO法人たかびあスポーツクラブ内)
電話・FAX 0566-52-3415 (土日祝含む/午前9時~午後8時) E-mail tsc-06@katch.ne.jp